

琴奏者・吉澤延隆氏による公演を開催しました

(3月19日～20日)

琴奏者の吉澤延隆氏がエレバンのコミタス室内音楽ホール(3月19日)及びギュムリのエレバン・コミタス国立音楽院ギュムリ分校(3月20日)で日本の伝統楽器である琴の公演を行いました。今回の公演は、日・アルメニア外交関係樹立30周年を記念して開催されたものです。

エレバンで行われた公演の冒頭において、福島正則駐アルメニア日本大使及びアルトゥール・マルティロシアン教育・科学・文化・スポーツ省次官は歓迎の挨拶を行い、音楽の重要性と両国の交流促進への期待を表明しました。

今回の公演に当たっては、吉澤氏とアルメニアのアーティストとの共演が繰り広げられました。エレバンでは、ドウドウク奏者のアルタク・アサトリャン氏、カノン奏者のマリアンナ・ゲヴォルギャン氏及び「Hover」室内合唱団と、ギュムリでは、音楽院ギュムリ分校の教授であり、ドウドウク奏者のカラペット・シャボヤン氏及びカノン奏者のアナヒト・ヴァレシヤン氏との共演が実現し、会場には見事なハーモニーが響き渡りました。

また、吉澤氏は、3月19日にアルノ・ババジャニャン・コンサートホールで開催された、アルメニア・日本教育・文化交流センター「いろは」主催の日本音楽祭「音色」でも琴の演奏を披露しました。

いずれの会場においても、吉澤氏が奏でる伝統的・現代的なパフォーマンスと琴の美しい音色が多くの観客を魅了しました。



福島大使によるスピーチ



マルティロシアン次官によるスピーチ



吉澤氏による挨拶



吉澤氏によるパフォーマンス



ドウドウク奏者・アサトリヤン氏との共演



カノン奏者・ゲヴォルギャン氏との共演



「Hover」室内合唱団との共演
(指揮:ナリネ・ヴォスカニャン氏)



エレバン公演の様子



ギュムリ公演における福島大使スピーチ



ハルチュニャン国立音楽院ギュムリ分校長スピーチ



ドウドウク奏者・シャボヤン氏及び
カノン奏者・ヴァレシヤン氏との共演



ギュムリ公演の様子